

1. 日時：令和元年12月13日（金） 13：00～14：30
2. 場所：中日本高速道路株式会社801、802会議室
3. 出席委員：中村委員長、小川委員、亀井委員、服部委員、二村委員、阿部委員
4. 議事要旨

◇事後評価（案）の審議

○舞鶴若狭自動車道（小浜西～敦賀JCT）及び首都圏中央連絡自動車道（茅ヶ崎JCT～八王子JCT）の事後評価（案）を説明のうえ審議し、十分な整備効果が発揮されており対応方針については案（今後事後評価の必要なし）のとおり了承された。

○主な意見

■舞鶴若狭自動車道（小浜西～敦賀JCT）

- ・関西と北陸を結ぶ重要な道路であり、ストック効果も十分に発揮されている。北陸新幹線の整備はまだまだこれからであり、引き続き舞鶴若狭自動車道には期待している。
- ・事故などによる定時性の観点から4車線化も検討する必要があるのではないか
- ・中国、関西地方とのつながりによる効果は十分に発揮されている、東海地方とのつながりによる効果がもう少し示せると良かったのではないか

■首都圏中央連絡自動車道（茅ヶ崎JCT～八王子JCT）

- ・当該区間の開通後の都心通過交通が減少したことによる環境改善について確認した方がよい。
- ・圏央道は当初計画よりも交通量が増えており、渋滞も発生している。本来の環状機能が十分に発揮できていないところもあり、これらの反省を今後の高速道路の整備計画に反映させていく事が望ましい。
- ・横浜湘南道路や横浜環状南線が完成する事により横浜港とのアクセスが向上し、大型車の交通が多くなることが想定される。渋滞対策や過積載車両の取締りなど、対策強化の検討も今後必要になるのではないか。